



申6号「車両検修業務の体制見直しについて」に関する申し入れ 提出!

JR東労組水戸地本は2022年12月20日に「車両検修業務の体制見直しについて」提案を受けました。

提案では、安全の確保をベースとして業務を高度化し、お客さまが求める輸送サービスを提供することや生産性を向上による経営体制の強化を実現し、鉄道をサステナブルに運営していくことが謳われています。

今回の提案内容では、勝田車両センター各班体制をユニット化・グループ化して業務の融合を図ることや土浦運輸区検修部門を勝田車両センター所属とすることが示されました。箇所体制についても同時に示されましたが、どのように業務の融合や連携を図るのが重要であると考えます。

従って、安全の維持・向上や組合員・社員の健康が担保され、働きやすい職場と職場環境が確立されると共に、組合員・社員が日々の業務に前向きに取り組むことのできる施策とするため、下記のとおり申し入れました。今後、団体交渉を行います。



～申し入れ内容～

1. 今施策の目的を明らかにすること。
2. 勝田車両センター各班体制をユニット化・グループ化し業務の連携と融合を図る目的を明らかにすること。
3. 勝田車両センターの出面数が減少する根拠を明らかにすること。また、各ユニットの具体的な体制を示すこと。
4. 土浦運輸区検修部門を勝田車両センター派出にするメリットを明らかにし、体制を強化すること。
5. 草野電留を終日不在にする根拠を示すこと。

「安全・健康・ゆとり」と「働きがい」の持てる職場を実現するため、
JR東労組水戸地本は団体交渉に臨みます!